

西条市民
クラブ

佐伯利彦 議員



- (議案質疑)
- 1 農業労働力最適活用支援事業について
 - 2 東予東中学校技術室棟整備事業について
- (一般質問)
- 1 キウイフルーツの産地維持に向けた取組について

キウイフルーツ
産地復興に待ったなし!

問 農業の世界は競争社会であり、多くの地域が日本一の座を狙っている。今回、市内農協が中心となりニュージールランド企業と農業生産法人を設立したが、産地維持に向け、市はどう考えるか。

答 本市は、平成26年に発生したキウイフルーツかいよう病により栽培面積、生産量ともに大きく減少し、生産量は県下第3位となっている。今後、効率的で生産性の高い産地として、維持・発展するには、団地化が有効と考えている。

今回、設立された農業生産法人は、病気に強い品種により、園地の団地化を図ると伺っている。この取組により、疲弊した産地の復興とともに、雇用創出や新規就農者の研修先、大規模団地化による生産体制の確立やコスト削減、更には耕作放棄地の予防・解消が図られ、人材育成や企業型農業経営のモデルになると期待しており、国・県との補助事業の調整など、可能な限りの支援を講じていきたい。



キウイフルーツ

佐々木 充 議員



- (一般質問)
- 1 不登校児童・生徒に対する支援について
 - 2 本市の働き方改革に関する取組について

ひきこもり児童生徒とその家族に支援を!

問 ひきこもり児童・生徒とその家族に、どのような支援を行っているのか。

答 学校では、保護者や青年イングサポートセンターなど関係機関と相談しながら、ひきこもり児童・生徒に対応しているほか、児童・生徒の状況に応じて家庭訪問を行っている。また、本市はスクールソーシャルワーカーを1名配置しており、学校と連携・協力しながら、家庭訪問や相談

できる機関の紹介など、学校で悩み事を抱えている児童・生徒やその保護者への支援を行っている。更に、スクールカウンセラーを3名配置しており、拠点となっている東予東中学校、小松中学校、西条東中学校を中心に近隣校の児童・生徒やその保護者、教職員に対しカウンセリングや相談活動を行っている。

なお、青少年育成センターでは、ヤングテレホンという電話相談によって、児童・生徒の学校生活における悩み相談に対応している。今後は、教育長が自ら児童・生徒から直接電話で相談を受ける相談ダイヤルを新たに開設する予定である。



西部ウイングサポートセンター

公明党
西条市議員団

越智絹恵 議員



- (一般質問)
- 1 がん対策について
 - 2 小・中学校における通学路の安全対策について

子ども達の未来を守る
通学路の安全対策を!

問 危険箇所の確認や不審者対応など、通学路の安全対策をどのように考えているか。

答 関係機関と連携し、不審者の情報共有や登下校指導などを行っている。今後も、子ども達の安全のため地域安全ボランティアの協力を得て、見守り頻度が少ない下校時の活動を充実させたい。